

大腸がんを予防するためには

―かわぐち消化器内科

院長・医学博士

川口 義明

東海大学医学部 客員教授
横浜市立大学医学部臨床教授



大腸がんは、日本におけるがんの罹患数で第1位、死亡数では第2位(女性では第1位)であり、予防または早期発見が重要です。健診の便潜血検査は簡便で良い方法ですが、その感度は進行がんで約85%、早期がんや大腸ポリープではさらに低下すると考え

られています。そのため、便潜血が陰性であっても油断はできません。

大腸がんの多くはポリープ(腺腫)から発生することが分かっています。大腸がんを予防する近道は、大腸カメラを受け、ポリープがあれば切除することです。ぜひ50歳(可能なら40代)になったら、まずは1回は大腸カメラを受けることをおすすめします。

かわぐち消化器内科では、鎮静剤・鎮痛剤を使用した苦痛のない大腸カメラ検査を実施しています。ポリープの見逃

しを防ぐためにAIを導入し、検査中に発見された大腸ポリープは、その場で切除することもできます。また、女性医師による検査も可能。初診の方でも、電話やウェブから予約できます。ぜひご利用ください。

かわぐち消化器内科

▽電話番号・住所

TEL 045-830-5311

港南区港南台5-23-30

港南台医療モール3F

◀医療スタッフの皆さん

